

＝ 普 及 情 報 ＝

No. 30

平成30年2月20日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	<p>平成年29産「ひらたの柿」販売額 約2億8千万円！</p> <p>～4年連続！2億5千万円を突破！本年は3億突破見込み！～</p>
------------	--

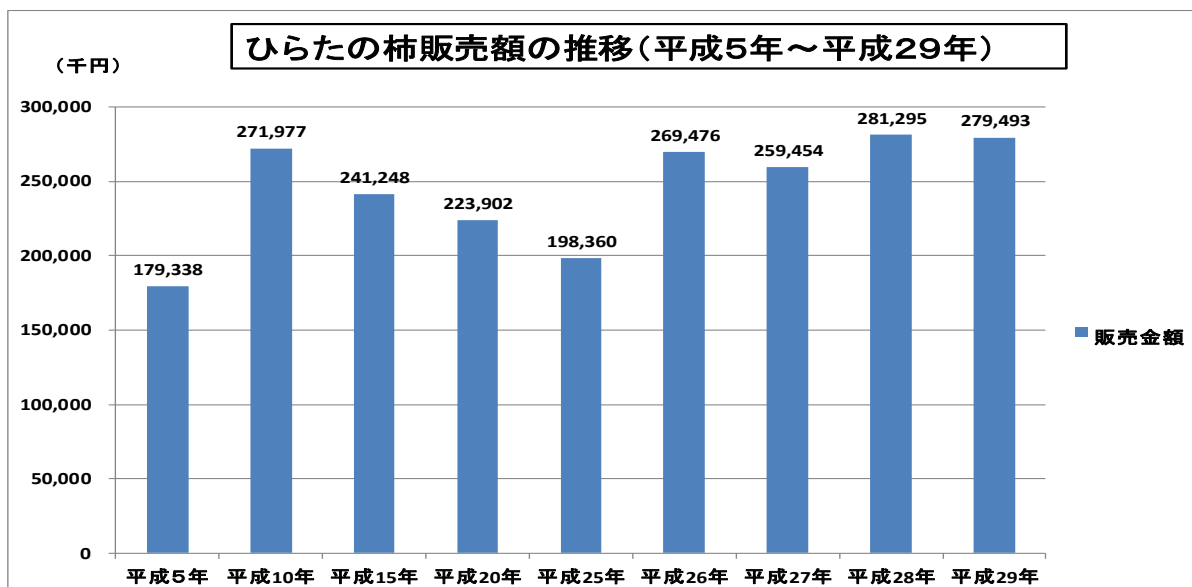
(ダイジェスト)

J A平田柿部会の平成29年産販売実績は4年連続で2億5千万円を超え、干柿（島根あんぽ、スイートパーシモン）販売額は過去最高の9,100万円（前年比112%）で、約74万個を販売しました。昨年は、全国的に柿の販売単価が安かったものの、部会員の単収向上等により販売量約782t（119%）、販売額は約2億8千万円になる見込みです。本年は更なるあんぽ柿の増産を計画しており、3億円突破が期待されます。

平成29年産の平田柿部会の販売がほぼ終了を迎え、販売量約782t、販売額約2億8千万円となる見込みです。販売期間は、露地：10月5日～12月16日、冷蔵：11月23日～12月25日、干し柿：10月16日～12月22日（ただし、現在も少量販売中）でした。

昨年は、全国的に豊作で単価安となりましたが、柿部会やJ Aで販売促進と出荷調整を行うとともに、西条柿出荷ピーク時に下位等級品や傷果等を干柿加工に仕向けたことにより、生果出荷の単価安を最小限（前年比80%）に止めました。また、本年も冷蔵庫（スーパークーリングシステム）を活用して加工期間を延長し、年末から正月出荷に向けて更に販売量を拡大する計画です。

干柿原料は、平成28年度に整備されたJ A柿リース団地（4.8ha）が成園化すれば約100tの西条柿が増産されることとなり入植した認定就農者の技術向上が今後、重要となります。東部農林振興センター出雲事務所としても、「ひらたの柿」産地の更なる発展を支援するとともに、活性化プラン目標の「儲ける柿づくり（単収・秀品率の向上）、担い手育成等」達成を目指し、本年、販売額3億円突破に向けた普及活動を行っていきます。



*平成29年産実績は、平成30年2月19日時点